

特殊詐欺にご用心

■野々市市の事例1

有料サイトの登録料金

「インターネットサイトの未納料金があり、本日中に連絡するように」とのメールが突然来た。身に覚えがないのでメールに記載されていた番号に電話をかけたところ「サイトをクリックしただけで登録される場合がある。登録料金が発生しているので24時間以内に30万円を支払え。支払いのない場合は裁判所に訴える」と言われた。

■野々市市の事例2

訴訟についての最終告知

「消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」というハガキが自宅に届いた。ハガキには連絡のない場合、給与等・動産・不動産の差し押さえをすると書かれていたので、ハガキに記載されている番号に電話をかけたところ、「弁護士でないと訴訟の取り下げはできない」と言われて弁護士を紹介され、手続きの費用を請求された。

身に覚えのないメールやハガキに記載されている番号に電話をかけてはいけません。

特殊詐欺認知状況

種別	件数	被害額(円)
オレオレ詐欺	43(10)	75,150,607 (103,403,607)
架空請求詐欺	49(4)	82,463,172
融資保証金詐欺	3	1,315,000
還付金等詐欺	7	4,642,640
合計	102(14)	163,571,419 (191,824,419)
金融商品等取引名目詐欺	2	6,975,900
ギャンブル必勝情報提供名目詐欺	1	7,333,896
異性との交際あっせん名目詐欺		
その他詐欺	3	14,309,796
総合計	105(14)	177,881,215 (206,134,215)

※1 件数の()は未遂(内数)

※2 被害額の()はキャッシュカードによる引出額を含む

種別	件数	被害額(円)
オレオレ詐欺	38(7)	72,793,000
架空請求詐欺	55(9)	224,446,250
融資保証金詐欺	6	3,950,259
還付金等詐欺	38(1)	35,604,741
合計	137(17)	336,794,250
金融商品等取引名目詐欺	1	16,330,000
ギャンブル必勝情報提供名目詐欺	3	9,934,198
異性との交際あっせん名目詐欺		
その他詐欺	1	14,500,000
合計	142(17)	377,558,448

※ ()は未遂(内数)

石川県警察ホームページより

特殊詐欺とは

特殊詐欺とは、面識のない不特定の人に対して電話やメールを使って接触し、銀行口座にお金を振り込ませるなどしてお金をだまし取る詐欺のことです。代表的な特殊詐欺にはオレオレ詐欺や架空請求詐欺などの「振り込め詐欺」があり、他にも金融商品等取引名目詐欺や異性との交際あっせん名目詐欺などが特殊詐欺にあたります。銀行口座への送金や現金の郵送による被害が多く発生していますが、近年、若年層を中心に電子マネーに関する被害も増えています。

石川県内では、2017年に105件の被害があり、被害金額は約1億7788万円となりました。2016年の142件、3億7755万円と比べ、件数・金額ともに減少しています。被害の内訳としてはオレオレ詐欺と架空請求詐欺が合わせて92件となり、金額においても合わせて1億5761万円で9割近くを占めています。

特殊詐欺被害の特徴として、被害者の7割以上が65歳以上の高齢者となっており、男女別では女性が7割以上を占めています。石川県内では、2017年に105件の被害があり、被害金額は約1億7788万円となりました。2016年の142件、3億7755万円と比べ、件数・金額ともに減少しています。被害の内訳としてはオレオレ詐欺と架空請求詐欺が合わせて92件となり、金額においても合わせて1億5761万円で9割近くを占めています。

全国の特殊詐欺被害は、2014年に約570億円となりました。2017年は約1万8000件、被害金額は390億3000万円となっていて、ピーク時に比べると件数・金額ともに減少していますが、多くの被害が出ています。特にここ7年、被害件数は右肩上がりに増加し、被害金額も6年連続で350億円を超えるなど改善の気配を見せていません(下図)。

特殊詐欺被害の特徴として、被害者が7割以上を占めています。

石川県内では、2017年に105件の被害があり、被害金額は約1億7788万円となりました。2016年の142件、3億7755万円と比べ、件数・金額ともに減少しています。被害の内訳としてはオレオレ詐欺と架空請求詐欺が合わせて92件となり、金額においても合わせて1億5761万円で9割近くを占めています。

全国の特殊詐欺被害は、2014年に約570億円となりました。2017年は約1万80